

意識の聲

109

〒133-0044 東京都江戸川区日本一色1-12-11 511
日本JAAP会長 久保田八郎

(199=90
4799

盛夏の候となりました。碧空下を流れる白
雲を窓越しに眺めれば「おーい雲よ、はかに
香気そうじゃないかし」という名詩を思い出し
て睥ひかけたくありません。物事に抵抗するこ
となしに大宇宙と一体化して悠々と浮遊する
あの雲のようになりたいという願いは、我々
地球人の次元を超えた事なのでしょうか。た

ぶんそうではないでしよう。万人にその可能
性が与えられているものと確信します。

さて去る元月一七日に入院して以来、早く
も一方自余が経過しました。こんな長引く
とは思いませんでした。今は早く治りたい
という焦りあせよりも、「体をうんと休養させよ
という内部の宇宙の意識（神）からの指令だ
ったのだ」と達観して、むしろ宇宙の意識に感
謝しております。

★ご迷惑をかけたお詫言

2.

エーコン誌146号は七月二〇日発行予定
でしたが遅れてしまい、まことに申訳ありま
せん。実際には九分通り編集と割付は完了し
ていたのですが、急患の入院となつて何もか
も放置したまま家を出たものですから気がか
りです。本部従業員達が残りの編集をやつちま
おうと言つてくれまので、それは大変有難
いのですけれども、そのためには私が全員を集めて
編集の方法を詳細に説明する必要があるす。
先のためには病院から半日周りの休暇をもらつ

て寢宅する必要があるのですが、これが案外に困難なのです。しかし不可能は存在しないという言葉を鉄則として頑張ってみましよう。
★あらためて『全集』一巻に感動

私が長期入院生活中に持ち込んで読んだ本はただ一冊。それは新『ゲムスギ』全集一巻『牙ニ惑星』からの地球訪問者目録です。これをくり返し熟読しました。これ以上の素晴らしき書物が世界のどこにありうぞ！と感動の連続でした。私が思うに、この書物は新約聖

書に匹敵するか、またはそれ以上の価値を有
 すると確信しますもの、そのように認めら
 れるのは早くて来世紀の半ば頃でしょう。

この書物を読み直して腹の底から感じたの
 はフーコー氏の次の言葉です。

「人は生き方を変えようとしなにかぎり
 救われるものではないですね」
 (二七頁)

全巻を私が翻訳したので、^{大体に}全巻の訳文
 を記憶しているはずなのですが、もうもゆか
 ず、あらためて読み直して「おや、こんな個

所があったのか！と驚くことしばしばです。
★第一回関西支部大会、大盛況

去る七月二十五日に大阪堺市で開催された
第一回関西支部は約五〇名の参加者を得て大
成功だったそうです。ご来場下さった方々に
厚く御礼を申し上げます。私は残念ながら入
院中のため出席できません、すべてを本部役員の
加藤幹事に託しておきました。うまくやっ
たようですよ。それにしても私がいるのといな
いのとでは大違いのようですよ。今後は極

力健康に留意して皆様に「迷惑をかけぬよう」に努力するつもりです。

★今年度総会迫る

今年度の総会も10月10日に開催の予定
でして、万端の準備をひとのえておりました。

今年度は超能力者でコンタクトイーターとしても名
高い秋山真人先生のご講演を予定しております。
演題は「
」となつております。

4
素晴らしい内容が展開するでしょう。詳細な

予告はエーコン誌146号に掲載の予定です

が、この号の発行が遅れるようならば、別に
詳細なチラシを全会員に配布致します。多数
の方々のご来場をお待ちしております。

★アメリカ西部の旅、大好評

例によってアメリカ西部の旅は^{の企画}大好評を博

し、七月末現在で旅行社に対する正式な参加
申込者は三四名に達しています。定員は三六
名ですからあとわずかです。満員になりま
す。早目にお申し込み下さい。これでもって今年度の
イベントは終了します。

5.

★不滅のフーコー氏の言葉

前述のとおり私は入院中に持ち込んで読んだ本はただ一冊。全長期集才一卷「第二惑星からの地球訪問者」だけ。それほどに私がこの書物の内容に傾倒していることはこれでお分かりと思えます。ただし^{私の}翻訳が拙いので、それだけが気がかりですが、とにかく内容は驚倒的なもので何度読み返しても、これは地球人の手によって書かれたとは信じられないほどです。ましてヤジョー・ジ・アダムスキー

が空想によって捏造ねうぞうしたという初期の非難攻撃は幼兎の騒ぎです。もし空想で書かれたものとするれば、アダムスキーは超一流のミステリー作家といえるでしょう。

しかしそんなことよりもこの書物には珠玉のような箴言しんげんが全篇にちりばめられており、これ一冊でもって旧新約聖書を上回るほどの真理の言葉に満ちています。特に深い感銘を受けるのは火星人フーコーン氏の次の言葉です。

「私たちはあなたからの言う失望なるものを
知りません。それは消極的な言葉です。ずい
と昔、私たちは信念の力、希望の力、絶対に
あきらめない力などを学びました。昨日失わ
れたゴールを明日は勝ちとることができますし
(二七九頁)

これ以上の素晴らしい言葉を私は知りませ
ん。しかも四〇年近い昔に初めて翻訳したの
に、今もって私の心中に焼きついて離れない
のです。特に病床にあれば尚更です。皆様方

は如何でしょう。

★エーゴン誌発行の遅れのお詫び

さて肝心のエーゴン誌146号がひとく遅
れて全く申訳ありません。もう少しお待ち下
さい。本部役員たちを動員して何とか完成さ
せるつもりです。秋山眞人先生の異星人長老
との質疑応答集が圧巻です。これは冒頭に掲
載の予定です。

全く今年^{ヤクヒ}は厄年でした。しかし七〇歳半ば
も生きれば、平隠無事ですごせるのが不思議な

ほどです。それでなく、さえ私は幼少の頃か
 ら何度も大病をわづらってしかかも奇跡的に助
 かっているのですから、何かのいづれも御加
 護があるものとしか思えません。後年士^ど方^{かな}生
 活をや^{三年間}って健康をとりもどし、徴兵検査で胸
 囲が少し不足したために措しくも甲種合格を
 はずれて第一^お種合格として現役兵にとられ
 て入隊した松江連隊の同年兵数千名が戦死し
 たのに、私はその組からはずされて助かった
 のです。これ何かの御加護によるのか

もしれません。インド哲學的に言えばカルマ
によるものでしょう。

これにしても二一〜二歳頃の、松本航空隊に
いた当時の健康そのものの軍隊生活がなつか
しく胸裏を去来しする。残虐^{さん}であつた旧日本

軍を賛美するのではなく、健康であつた当時
の我々身を回想して過ぎ去つた青春を美^{うつく}わし
く思うのです。戦争論に関しては何別の機会に
ゆずりませう。

★第一回関西支部大会大盛況